

令和元年9月 定例県下議会

自民党香川県政会による代表質問の内容

「さぬきの夢2009」の 生産振興について

ブランド化を進め、一層の利用拡大に努力

質問：讃岐うどん用小麦と

して県が開発した「さぬきの夢2009」は全国的にも高い評価を得ている。



来年度に向けて需要に応じた安定生産が要望されており、推進大会の開催、作付面積拡大への助成、機械の導入、排水対策の徹底などによる生産

振興の強化に取り組む。

一方、さ

ぬきの夢応援店の拡大、ホームページやSNSによる情報発信、チ

本県の伝統文化を支える貴重な存在であり、また本県農業を支える重要な作物である。更なる生産振興とともに、より一層のブランド化の推進にどう取り組むのか。

答：（知事）令和元年は作付面積1940ha、収穫量8700トンと過去最高となる見込みだ。

（知事）令和元年は作付面積1940ha、収穫量8700トンと過去最高となる見込みだ。

県内企業の海外展開への支援について

台湾での商談会を開催、知的財産への対応も支援

質問：県内企業は今後、人口減少を前提としたビジネスモデルを構築する必要がある。

そのためアジアの新興国などへの海外進出や海外需要の取り組みを積極的にを行うことが重要である。

また商標や特許などの知

的財産をめぐる対策にも県

の支援が必要だ。県として

の取組を聞く。

答：（知事）県内産業を成長

発展させるためにはアジア

を中心とした海外の活力を

積極的に取り込むことが重

要である。

本県の海外展開企業数は大幅に増加している。県では、情報提供や助言などのニーズに応え、地方創生における役割も担っていかねばならず、また生徒数の動向や社会情勢の変化等を踏まえながら、高校教育の在り方やそれに必要な教育環境について検討を行うこと

が重要である。検討状況に

等への経費助成を行なう。

中国での「香川小豆島」の商標出願に関しては中国商標局への異議申し立てを行った。今後も県内企業の海外展開や知的財産へ

の対応を支援していくた

県立高校の再編整備と 中讃地域に中高一貫校について

東讃の高校4校を2校に再編、
中讃地域に中高一貫校を設置

質問：県立高校においては、

今後の生徒の多様な学びの

ニーズに応え、地方創生に

おける役割も担っていかね

ばならず、また生徒数の動

向や社会情勢の変化等を踏

まえながら、高校教育の在

り方やそれに必要な教育環

境について検討を行うこと

が重要である。検討状況に

ついて教育長に聞く。

答：（教育長）生徒数の減少が進む中、一定の学校規模や多様性を確保し効果的な教育活動を進める必要がある。全国からの生徒募集や学区の弾力的な運用、高校や学科の再編整備を行い、教育環境の充実を図っていきたい。

（教育長）生徒数の減少が進む中、一定の学校規模や多様性を確保し効果的な教育活動を進める必要がある。全国からの生徒募集や学区の弾力的な運用、高校や学科の再編整備を行い、教育環境の充実を図っていきたい。

（教育長）生徒数の減少が進む中、一定の学校規模や多様性を確保し効果的な教育活動を進める必要がある。全国からの生徒募集や学区の弾力的な運用、高校や学科の再編整備を行い、教育環境の充実を図っていきたい。

